

第1回 相模原市のお土産づくり事業

《 募集要項 》

1. 経過及び背景

相模原市の「さがみはらのお土産」づくりの取組は平成21年に始まり、イベント等でのコンテスト形式で事業者や商品を表彰し応援することで、その実現を目指してきました。

しかしながら、相模原市民が「さがみはらのお土産」と思う商品に至らないこと、既存の事業者や商品を応援する取組は、相模原市だけではなく、県や商工会等でも実施していることを踏まえ、本市は令和7年度から新たな取組にシフトします。

本市は、「さがみはらのお土産」を、市民の声に応える商品と仕組みづくりによって実現する取組をスタートし、県や商工会の取組と両輪で進めることにより、その実現を目指します。

この取組に賛同し、「さがみはらのお土産」を開発し、市民に支持される商品に育つまで長く取り組んでいただける事業者を公募します。

2. 事業概要

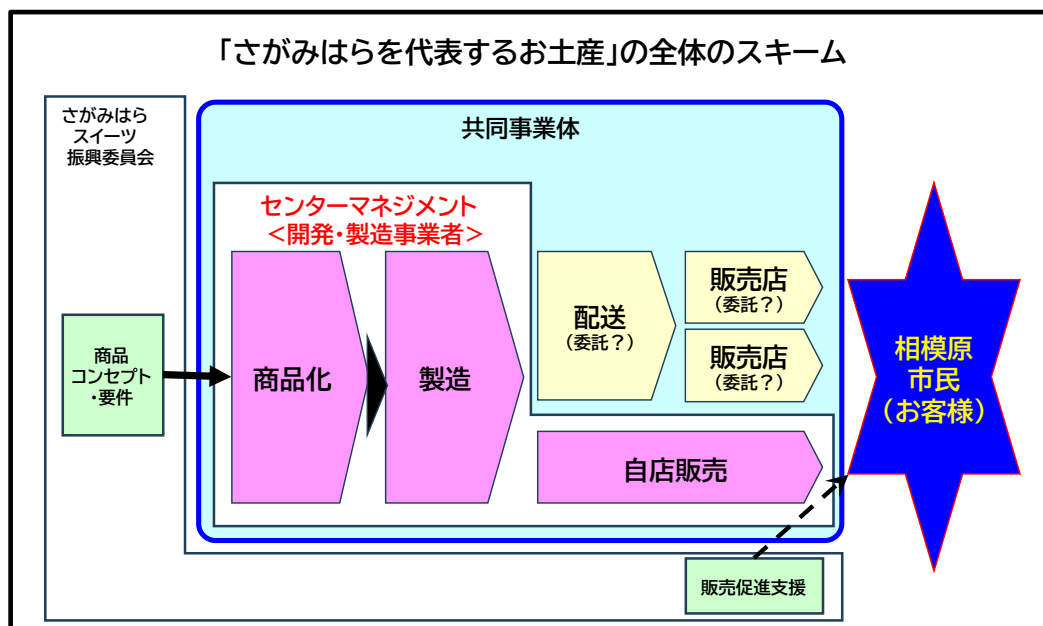
本市は、「こんなお土産がほしい」「近くで買いたい」という市民の声を叶えることで「さがみはらのお土産」を実現する仕組みづくりに取り組んでいきます。

市民が求める商品を「開発」し、お客様の近くで「販売」するため、需要に応じて「製造」し、売場まで「配送」する、という事業に必要な機能を、複数の事業者が分担する共同事業体を構築していただく取組をスタートします。

市民に「さがみはらのお土産」と認知いただけるお菓子を実現するため、商品開発・製造事業者には、下記お願いします。

- ①「開発」 お土産ユーザーの「こんなお土産がほしい」という要件に基づき商品開発をお願いします。
- ②「製造」 スタート当初は少量になる可能性がありますが、市民の支持の広がりにもなう増産等、需要にあわせた適正量の製造をお願いします。

- ③「配送」 製造場から販売店までの配送は、製造事業者にて手配をお願いします。
- ④「販売」 市民の「近くで買いたい」を実現するため、自店での販売はもちろんですが、自店以外の少なくとも2店で販売することをお願いします。



また、発売後の販売戦略の検討をお願いします。「さがみはらのお土産」を実現するためには、市民に広く支持されることが必要です。「わが街の商品」と認知していただける市民を1人ずつ増やしていく販売戦略を検討ください。

- ① お客様の声を聴き、商品(包材デザイン等も含む)のリニューアルや店頭プロモーションの見直しをお願いします。
- ② 市民に「わが街のお土産」として根付くまでの間は、相模原市内のリアル店舗のみでの販売をお願いします。
- ③ 市民に商品価値を理解していただくため、商品の物性や、情緒的な価値を言語化し、SNS、POP 等を活用して店頭等で継続した訴求をお願いします。

3. 公募参加条件

- (1) 公募に参加できる者は、法人又は法人のグループとし、個人での参加はできません。また、次のいずれにも該当しないことを条件とします。なお、グルー

プで応募する場合、すべての構成員も同様とします。

ア 参加する法人等(法人又は団体をいう。)が、相模原市暴力団排除条例(平成23年相模原市条例第31号。以下「市暴力団排除条例」という。)第2条第5号に規定する暴力団経営支配法人等と認められる者

イ 神奈川県暴力団排除条例(平成22年神奈川県条例第75号。以下「県暴力団排除条例」という。)第23条第1項に違反したと認められる者

ウ 県暴力団排除条例第23条第2項に違反したと認められる者

エ 市暴力団排除条例第7条に規定する暴力団員等と密接な関係を有すると認められる者、又は参加する者の支店若しくは営業所(常時業務の契約を締結する事務所をいう。)の代表者が、暴力団員等と密接な関係を有すると認められる者。

オ 地方自治法施行令(昭和22年政令第16号)第167条の4の規定による、契約を締結する能力を有しない者及び破産者で復権を得ない者。

カ 次の申立てがなされている者

(ア)破産法(平成16年法律第75号)第18条又は第19条の規定による破産手続開始の申立て

(イ)会社更生法(平成14年法律第154号)第17条に基づく更生手続開始の申立て

(ウ)民事再生法(平成11年法律第225号)第21条の規定による再生手続の申立て、銀行取引停止、主要取引先からの取引停止等の事実があり、客観的に経営状況が不健全であると判断される法人でないこと。

キ 相模原市競争入札参加資格者指名停止等措置要綱(平成8年4月1日施行)に定める指名停止の期間が含まれている者

ク 市税を滞納している者

(2) 1法人につき1件のみご応募いただけます。複数の応募はできません。ただし、グループで応募の場合は、代表企業として応募できるのが1件とし、代表以外での参加は複数応募を可能とします。

4. 応募の基本条件

(1) 応募者は、お土産候補を1品(以下「応募商品」と呼びます。)のみ提案してください。

(2) 参加予定登録手続き

参加を希望する法人又はグループは、様式1により令和7年12月12日(金)までに登録手続きをお願いします。

(3) 応募商品は、様式2により、別紙3の商品コンセプト・要件に沿った仕様とし、商品名、パッケージ、販売戦略等について令和8年1月30日までに提案してください。コンセプトに沿ったものであれば、新商品、既存商品、既存商品に手を加えて仕立て直した商品等、いずれも応募可能です。

(4) 応募商品が選考された場合、別紙4を基本に製造、販売をしていただきますが、詳細につきましては協議させていただく場合があります。

(5) 選考にあたり、さがみはらスイーツ振興委員会が商品名やパッケージ等に意見を付す場合があります。再考にあたりましては、さがみはらスイーツ振興委員会から支援の手段についても併せてご案内いたします。

(6) 応募商品の発売前後に、別紙5のとおり、多くの市民に試食いただく機会をさがみはらスイーツ振興委員会が提供します。この際にいただいた感想等を商品の磨き上げに活用するよう努めてください。

(7) 市民の「近くで買いたい」にお応えするため、商品発売時より、「相模大野駅」「橋本駅」「JR相模原駅」といった相模原市内の主要駅近辺のお店、自店以外の少なくとも2か所で販売をお願いします。

上記参加予定登録手続き時に様式1により、販売希望店舗を2店舗以上申出てください。申出に基づき、市で販売希望店舗に市が打診し、販売の可否や取引条件を確認します。確認した内容は、事業者と共有させていただきます。商品が確定しない時点での調整となりますので、あくまで取扱いの可能性、幅をもった取引条件の確認になります。

確認した内容をふまえて、また商品応募時に様式2により、販売希望店舗を2店舗以上申請してください。商品選定後、市が、選定された商品仕様を販売希望店舗に提示し、販売の可否や取引条件を確認します。

具体的な納価等の詳細の取引条件や販売方法等については、製造事業者と販売事業者とで直接協議し、契約締結してください。

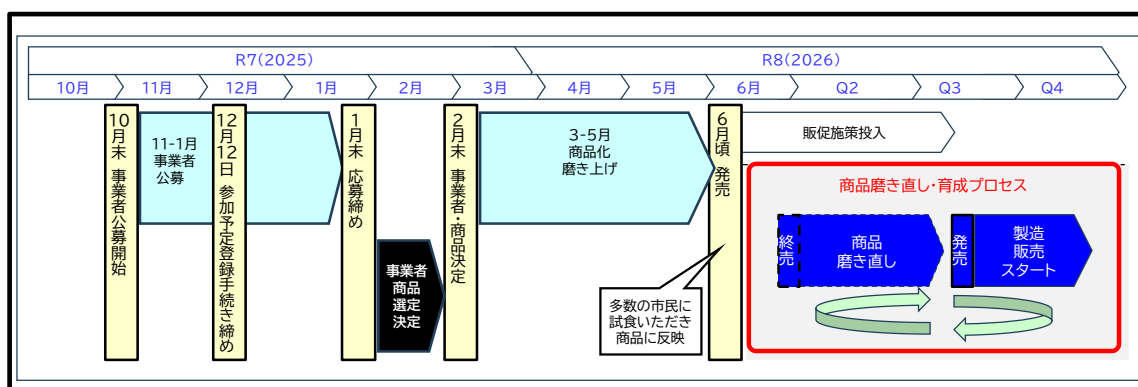
※応募商品の製造・配送に関わらない製造販売事業者の店舗は販売委希望店舗の対象外とさせていただきます。

※商品応募時には、確認した取引条件で合意できる、ある程度の見通しが
る前で、販売希望店舗を申請してください。

- (8) 応募商品発売後、商品の変更や終売とする場合、さがみはらスイーツ振興委員会と協議するものとします。ただし、選考から3年以上経過した場合はこの限りではありません。

5. 今後のスケジュール

令和7年	10月末	公募開始
	12月12日(金)	参加予定登録手続き締め(様式1)
令和8年	1月30日(金)	応募締め(様式2)
	2月中	選考
	2月末	事業者・商品決定
	3～5月	商品磨き上げ、包材リデザイン等
		※必要に応じて包装紙デザインを芸術大生に委託することも可能
	6月	商品発売



6. 選考方法

商品の選考はさがみはらスイーツ振興委員会が主体となり行います。具体的な選考方法は11月末までに事業者へ別途通知します。

選考にあたっては、包材も含めた現物の目視、試食を実施しますので、応募商品のご提供をお願いします。ご提供いただく商品の数量や期日等詳細は別途連絡します。

また、さがみはらスイーツ振興委員会による選考の前に、ユーザーによる試食や評価を実施し、さがみはらスイーツ振興委員会での選定の参考情報として活用する場合もあります。

7.注意事項

- (1) 商品の製造・配送・販売は、事業者の責任において実施していただきます。
- (2) 市が売上や利益を保証するものではなく、場合によっては損失が発生する場合があります。
- (3) 試食に関連して発生する費用の負担については、事前に市と関係事業者間で協議して決定することとします。

8.申込・問合せ先

上記、様式1(参加予定登録)、様式2(商品の応募)の送付、また、本市の取組内容や、応募方法等についてのお問合せは、下記までメールにて送付ください。

kankou@city.sagamihara.kanagawa.jp

主管 さがみはらスイーツ振興委員会
事務局 相模原市市長公室政策部観光政策課
所在 相模原市中央区中央2-11-15
電話 042-769-8236
E-mail kankou@city.sagamihara.kanagawa.jp